令和元年度　社会福祉法人修倫会事業報告

Ⅰ　基本理念

社会福祉法人修倫会は地域と共に、地域福祉のセーフティネットを構成する社会資源として、障がい者支援の役割を担い信頼される法人をめざします。

Ⅱ　基本方針

「利用者の自己選択」「就労支援の強化」「地域生活支援」をキーワードに、以下の３点を基本方針とする。

（１） 利用者の人権を尊重し満足度の高い福祉サービスに努める。
（２） 各事業所及び職員の連携を強化し、社会資源やネットワークの活用に努める。
（３） 職員は、支援者としての役割を自覚し専門性の向上に努める。

Ⅲ　経営事業

この社会福祉法人は、多様な福祉サービスその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として次の事業を行った。

○第二種社会福祉事業

（１）障害福祉サービス事業
就労継続支援Ｂ型（定員４０名）「松柏園」
就労継続支援Ｂ型（定員４０名）・共同生活援助（定員２２名）「みずき園」
就労継続支援Ｂ型（定員２０名）「あすリード本舗」

（２）一般相談支援事業
地域移行支援・地域定着支援「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」

（３）特定相談支援事業
特定相談支援事業「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」

（４）障害児相談支援事業
障害児相談支援事業「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」

（５）障害者就業・生活支援センター事業〈生活支援等事業〉
「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

○公益事業

（１）障害者就業・生活支援センター事業〈雇用安定等事業〉
「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

Ⅳ　経営方針及び取り組み内容

法人が経営する「松柏園」、「みずき園」、「あすリード本舗」、「チャレンジドセンター久慈」の４事業所が相互に連携し協働のもと、多様な生活課題や福祉需要に取り組むものとする。

今年度は、社会福祉法人制度改革への適正な対応を図りつつ、激変する経営環境を見極めながら、各事業の見直しを行うものとし、次の項目に取り組んだ。

（１）松柏園

働き方改革関連法の施行を機に、職員の労働時間の適正化と業務の効率化を目的として、４月からサービス提供時間を従来の８時３０分～１６時３０分から９時００分～１６時００分に１時間短縮し、日課や送迎時間の調整を行った。

これに伴い、各作業科の作業工程の見直しと効率化を進めるとともに、作業科間での連携体制を強化し、就労支援収益への影響が最小限となるよう努めた結果、作業面及び営業面は例年並みに推移し、就労支援事業収入及び平均工賃は前年を上回ることができた。

（２）みずき園

グループホームでは、４月に世話人１名を増員し完全週休二日制に移行するとともに、就労継続支援Ｂ型担当職員が支援会議へ参加する等、みずき園内での連携強化に努めた。

就労継続支援Ｂ型事業では、リサイクル作業で必要な古着や空き缶等の材料が減少していることから、農福連携事業等の新たな作業の開拓、導入を図ることを目標に取り組んだ。今年度は、農事組合法人宇部川ファームとの契約により、契約先作業場へ出向いてミニトマトのパック詰め作業を行った。８月から１１月まで週３日、少人数での作業量であったが、初年度でもあり、職員・利用者による作業遂行能力を見ていただくとともに、相互理解を図る取り組み期間となった。

農福連携事業については、他の農業生産者とも交渉を行い、来年度の新たな作業として、菌床しいたけハウス内の片付け作業と、ほうれん草ハウス内の草取り作業の受託契約を行った。

（３）あすリード本舗

平成３０年１０月より開始した就労継続支援Ｂ型事業の定着に努め、利用者の受け入れを進めることによって経営健全化を図ることを目標に取り組んだ。

就労継続支援Ｂ型事業を開始してから１年６か月が経過し、作業科目を一部整理した後の工賃実績は３万円で推移しており、一定の見通しを持って事業を進めることが可能となってきている。

利用者の受け入れに関しては、施設見学や実習受け入れを随時行ってきたが、新規利用者の確保には至っておらず、経営的には厳しさを脱却できていない。今年度は、管内の特別支援学校高等部３年生４名の実習を受け入れ、そのうち３名が来年度からの利用を予定しており、今後につながる実習対応となった。

職員の意識改革と専門性の向上については、実習受け入れの機会をとらえて、新たな利用者に対する作業支援のあり方や障がい特性の理解につながるよう努めた。

（４）チャレンジドセンター久慈

サービス等利用計画作成件数増加に伴い、相談支援専門員となる人材の育成及び確保に努めた。

職員のスキルアップは定期的に行っているが、新たな人材の確保には至っていない。

Ⅴ　法人の運営

１　評議員会の開催状況

回	開催日	内　容
定　時	６月 20 日	平成 30 年度事業報告について（報告） 平成 30 年度計算書類及び財産目録の承認について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会理事の選任について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会監事の選任について

２　評議員選任・解任委員会の開催状況

今年度の開催はありませんでした。

３　理事会の開催状況

回	開催日	議案
第１回	６月５日	経理規程細則別添１「共通経費の配分基準表」の一部変更について（報告） 平成３０年度事業報告について 平成３０年度決算について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会理事候補者の選定について 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会監事候補者の選定について 令和元年度定時評議員会の招集について 令和元年度第１次補正予算について
第２回	６月 20 日	社会福祉法人修倫会理事長の選定について 社会福祉法人修倫会専務理事の選定について 社会福祉法人修倫会顧問の委嘱に関し同意を求めることについて 任期満了に伴う社会福祉法人修倫会第三者委員の選任について
第３回	11 月 28 日	令和元年度社会福祉法人指導監査の実施結果について（報告） 理事長等職務執行状況の報告について（報告） 経理規程の一部変更について 令和元年度第２次補正予算について
第４回	12 月 18 日	職員による不祥事案の発生と対応について
第５回	３月 26 日	理事長等職務執行状況の報告について（報告） 令和元年度障害福祉サービス事業者等の実地指導の実施結果について（報告） 令和元年度第３次補正予算について 給与規程の一部変更について 定年再雇用規程の制定について 就業規則の一部変更について 有期契約職員就業規則の一部変更について 定款細則の一部変更について 令和２年度事業計画について

		令和２年度予算について

４　監事監査

監査等	開催日	内　容
決算監査 出納調査	５月 23 日	平成 30 年度事業報告及び会計監査 1 月～3 月までの会計執行状況
出納調査	８月 27 日	4 月～6 月までの会計執行状況
	11 月 26 日	7 月～9 月までの会計執行状況
	２月 27 日	10 月～12 月までの会計執行状況

５　会計顧問による月次会計監査

会計顧問「税理士法人つばさ会計」による月次監査を毎月実施し、１か月毎の会計・経理を明らかにし現況を把握した。

委嘱契約の内容　（１）会計顧問（２）決算監査（３）税務顧問

６　福祉サービスに係る苦情解決事業

（１）苦情解決体制

各施設ごとに苦情受付窓口を設置し利用について広報と啓発に努めた。また、各施設の忘年会や法人行事交流会に第三者委員が参加し情報交換の場を設けた。

（２）苦情受付

苦情解決規程に基づく、今年度の苦情受付の状況は次のとおりです。

施　設　名	内容別苦情受付件数				対応状況（再掲）	
	職員の対応	サービス内容	その他の内容	計	解　決	継続中その他
松柏園						
みずき園						
あすリード本舗	1			1	1	
チャレンジドセンター久慈						
計	1			1	1	

７　虐待防止の取り組み

（１）虐待防止対応体制

虐待防止対応責任者、虐待防止受付担当者、第三者委員を配置し、利用者に対する虐待防止を図るとともに、利用者の人権を保護し、健全な支援の提供に努めた。

（２）虐待通報受付

虐待防止対応規程に基づく虐待通報受付はありませんでした。

（３）虐待防止委員会

法人内に各事業所の責任者、担当者で構成する「虐待防止委員会」を設置し、虐待の防止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は５回開催し、職員倫理綱領の周知や職員チェックリストの活用、職員研修の企画・運営を行った。

８　地域における公益的な取組

（１）「上長内地区ふれあいサロン（ほのぼの給食会）」

久慈市社会福祉協議会との共催により、上長内地区の高齢者を対象に、日帰りでの健康チェック・給食サービス・送迎サービスを提供することとしていたが、今年度は、利用者の減少により事業実施に至らず、令和元年９月をもって休止、令和２年３月末をもって事業終了となった。

（２）「IWATE・あんしんサポート事業」の実施

あんしんサポート相談員１名を配置し、地域の市町村行政や社会福祉協議会等と連携・協力しながら、さまざまな生活課題を抱える皆さまの相談に応じ、日常生活上の福祉的な困りごとの解決に向けて支援していく社会貢献（地域公益）活動を実施した。

今年度のあんしんサポート事業の実施状況は次のとおりです。

	受付日	市町村	情　報 提供者	種　別	経済的 援　助	援助 回数	内　容	支給 済額	対応 結果
1	5月23日	久慈市	久慈市社会 福祉協議会	高齢・低所得	要	1	住居関係	30,000	終結
2	9月16日	久慈市	久慈平荘	高齢・失業	要	3	光熱水費 食　　材	11,951	終結

９　情報公開

（１）ホームページへの掲載

法人ホームページを開設し、社会福祉法人に公表が義務付けられている事項及び積極的な公表事項について公開した。

〇社会福祉法に基づく公表事項

定款の内容、報酬等の支給の基準、計算書類、役員等名簿、事業の概要

〇積極的な公表事項

事業報告書、計算書類の付属明細書、財産目録、社会福祉充実残額算定シート、監査報告書

（２）法人機関紙の発行

法人機関紙を年１回発行し、関係機関への配布や事業所内での掲示を通じて活動状況と決算資料を公開した。

１０　研修の状況

（１）役員等研修（外部研修への参加）

期　日	研修名	場　所	参加者
5月21日	平成31年度社会福祉法人の運営及び会計等に関する講習会	久慈市総合福祉センター	監事　佐々木　信蔵 監事　勝田　好正 専務理事　田代　順
7月3日	パートタイム･有期雇用労働法説明会	二戸市民文化会館	専務理事　田代　順

7月17日	令和元年度社会福祉法人経営セミナー（前期）	アートホテル盛岡	専務理事　田代　順 事務局次長　間　則明
12月12日	令和元年度社会福祉法人経営セミナー（後期）	アートホテル盛岡	理事長　間　健倫 専務理事　田代　順
２月４日	パワハラ対策等法律説明会	二戸市民文化会館	専務理事　田代　順

（２）法人職員研修会の開催

期　日	研修名・内容	場　所	参加者
7月9日	令和元年度修倫会「委託職員研修会」 「障害者虐待の防止について」 講師：ﾁｬﾚﾝｼﾞﾄﾞｾﾝﾀｰ久慈所長　鈴木　潔	みずき園	送迎業務委託運転手６名、送迎担当職員３名
8月25日	令和元年度修倫会第１回職員研修会 ・講義「成年後見制度について」 講師：久慈地域成年後見センター 主任相談員　二又　みち　氏 ・障害者虐待の防止について ・虐待防止に係る職員セルフチェックの説明と実施 講師：ﾁｬﾚﾝｼﾞﾄﾞｾﾝﾀｰ久慈所長　鈴木　潔	久慈市総合福祉センター	全事業所職員44名
11月19日	令和元年度修倫会第２回職員研修会 ・講習「救命入門コース」 講師：久慈広域連合消防本部署員 ・講義「虐待防止と支援のあり方について」 講師：ﾁｬﾚﾝｼﾞﾄﾞｾﾝﾀｰ久慈所長　鈴木　潔	久慈市総合福祉センター	全事業所職員38名
	※グループホーム世話人６名は、同日開催の世話人研修会へ参加		

（３）各施設の職員研修

施　設　名	内部研修の実施回数	外部研修	
		参加回数	参加延人数
松柏園	0	5	8
みずき園	0	１０	２２
あすリード本舗	0	2	2
チャレンジドセンター久慈	5	２０	３６
合　計	5	３７	６８

１１　令和元年度優良民間社会福祉施設・団体に対する御下賜金の拝受

令和２年２月２３日の天皇誕生日に際し、天皇陛下より民間社会福祉事業御奨励の思召をもって、社会福祉法人修倫会に対し金一封が御下賜されました。

このことについて、下記により伝達式が執り行われ、御下賜金を拝受いたしました。

（１）日　時

令和２年２月２５日（火）　１１時４０分から１１時５５分

（２）場　所

岩手県庁３階　第一応接室

（３）伝達者

岩手県知事　達増　拓也

（４）修倫会出席者

理事長　間　健倫、専務理事　田代　順、理事　大﨑　惠作

１２　役員等の状況（令和２年３月 31 日現在）

【評議員７名】

田表　一夫　　日沢マサ子　　田中　泰郎　　瀧　　重吉

村田　幸江　　松野下冨則　　七十刈清明

※　任期　就任年月日：平成２９年４月１日

満了年月日：令和３年６月に開催される定時評議員会終結の時

【評議員選任・解任委員５名】

外部委員　関　　英紀　　外部委員　岩﨑　壽吉

監　事　　佐々木信蔵　　監　事　　勝田　好正　　事務局員　古舘　哲雄

※　任期　就任年月日：平成２９年３月３日

満了年月日：令和３年６月に開催される定時評議員会終結の時

【理事６名、監事２名、顧問１名】

理事長　間　　健倫　　専務理事　田代　　順　　理　事　中野　信男

理　事　大﨑　惠作　　理　事　間　加壽子　　理　事　高屋敷真喜子

監　事　佐々木信蔵　　監　事　勝田　好正　　顧　問　河野　貫治

※　任期　就任年月日：令和元年６月２０日

満了年月日：令和３年６月に開催される定時評議員会終結の時

【第三者委員２名】

神田　秀子（元評議員）　　神田　光子（元民生児童委員）

※　任期　就任年月日：令和元年６月２０日

満了年月日：令和３年６月に開催される定時評議員会終結の時

１３　職員配置（令和２年３月 31 日現在）

施　設　名	職員数 （兼務再掲）	内　訳		
		常用職員 （兼務再掲）	有期契約職員 フルタイム	有期契約職員 パートタイム
松柏園	１３(1)	１０(1)	0	3
みずき園	２４(2)	１４(2)	5	5
あすリード本舗	8	7	1	0
チャレンジドセンター久慈	6 (1)	6 (1)	0	0
合　計	４９	３５	6	8

Ⅵ　事業内容

各施設、事業所の内容は別紙報告書のとおりである。

・令和元年度松柏園事業報告
・令和元年度みずき園事業報告
・令和元年度みずき園共同生活援助事業報告
・令和元年度あすリード本舗事業報告
・令和元年度チャレンジドセンター久慈事業報告

Ⅶ　附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

令和元年度　みずき園事業報告書

１　総　括

みずき園事業計画及び運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障害特性を尊重しながら、生産活動と生活支援を通じて知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら、適切な指定就労継続支援Ｂ型サービスを実施した。

施設の利用状況は、新規利用者が１名、年度途中での退所者が１名であり、大きな変動なく推移した。曜日指定の登園利用者の継続、体調不良等による欠席者もあったが、概ね安定した利用となり、利用率及び平均利用者数は昨年を上回った。

就労支援事業においては、利用者の高齢化、障害特性や日々の心身状態の変化に応じた細かな作業支援に努めながら、安全管理、品質の維持管理、顧客ニーズに合わせた商品の製造・販売を継続した。商品の販路拡大の努力や年２回の「バザー」の開催継続と農福連携のモデル事業から発展し、独自に農家と業務委託契約を締結した施設外就労の取り組み等、授産収入向上に努力をしたが、平均工賃月額は昨年度を若干下回った。

利用者支援においては、日中活動における創作活動の継続と園内外行事において利用者の嗜好や特性に配慮しながら、全員が楽しむことが出来るよう内容の工夫をし、満足度の向上と登園意欲を維持出来るように支援した。

２　事業の概要

（１）事業の種類　　就労継続支援Ｂ型
（２）指定年月日　　平成１９年４月１日
（３）定　　員　　４０名
（４）主たる対象者　知的障害者
（５）授 産 種 目　　食品製造・リサイクル・製粉加工・その他
（６）職員の配置状況（令和２年３月３１日現在）　　（単位：人）

職　種	員数	常　勤		非常勤		常勤換算後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
園長（管理者）	1		1			1
総務課長	1	1				1
主任生活支援員	2	2				2
主任職業指導員	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
職業指導員	4	3		1		３．８
生活支援員	1	1				1
目標工賃達成指導員	1	1				1
調理員	3			3		１．８
合　計	１５	１０	1	4		１３．６

３　施設サービスの状況

（１）個別支援

個別の面談や家庭訪問を実施し（年２回）、利用者と家族の希望の聞き取りをしながら心身状態、家庭での状況、サービスの意向等を把握したアセスメントにより、本人の希望する作業内容や生活支援を中心とした個別支援計画を作成した。また、必要に応じて計画の見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

・支援検討会議　　年２回開催

（２）作業支援

利用者の個別支援計画により、特性を考慮した上で取り組む作業科を決定し、基本的に同一作業科を継続しての取り組みをしながら、障害特性に応じた創作活動、軽運動、気分転換を目的とした多様な活動と、納品や回収、軽農作業等の外出する機会をつくり、心身の安定と生産能力や活力の維持向上､作業の楽しみを得て登園意欲へ繋がるよう支援した。また、昨年までの農福連携のモデル事業から発展し、３軒の農家と直接に業務委託契約を締結し、安全を最優先しながら農家の求める作業内容に対して的確に、併せて利用者がはつらつと特性に合った取り組みが出来るよう支援の工夫をした。

販売面においては、産直施設での陳列と在庫不足にならない様に日々情報を管理しながら都度、また、市内催事への出張販売や県社協共同受注センターの販売業務委託を積極的に活用し、ギフト販売では一般企業・団体を中心とした訪問営業活動を継続し、障害者就労支援への理解促進を図った。

（３）社会生活支援

一人ひとりの可能性を伸ばすために社会参加を促進し、豊かな感性の育成と生きがいある生活支援のために、各種行事を積極的に企画し実施した。また、実施に際しては障害の程度に関わらず皆が安全に楽しむことが出来るよう創意工夫をした。

春の行事（八戸方面)、教養講座「お茶会」、法人交流会、夏の行事（葛巻町グリーンテージ)、1泊2日ふれあい旅行（青森県弘前市)、ふれあい交流スポーツフェスタ、リフレッシュ教室（ふれあいランド岩手・いわてスポーツネットワーク事業を活用)、家族合同大忘年会、クリスマス会、ミズキまつり・成人を祝う会、冬の行事（園内にて卓球バレー大会・カラオケ)、慰労食事会（園内）等

（４）健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、毎月の工賃支給日に体重測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を年１回（２月）施設内で実施。また、希望者には医療機関においてインフルエンザの予防接種（１１月・２０名）を実施した。

（５）給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、利用者の身体状況、栄養や嗜好に配慮するために、アンケート調査を実施し（年２回)、少食を希望する利用者へも対応しながら、調理可能な範囲でバラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

・給食サービス利用者数　４１名（利用率 97.6%）
・食事提供に係る実費徴収額　１食当たり３４０円
　※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の２９８円

（６）送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。利用者３８名（利用率 90.4%）

（７）安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、みずき園消防計画に基づき、消防署指導による総合防災訓練（年１回１０月)、自主避難訓練（年１回４月）を実施した。

（８）地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、各グループホームと連携しながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

また、毎月開催されるグループホーム個別支援会議を通して利用者情報を共有しながら職員間の連携を図り支援に努めた。

4　利用者の状況（令和２年３月３１日現在）

（１）月別在籍利用者数　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	289	24.1
女性	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	18.0
合計	43	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	505	42.1

（２）障害別利用者状況　（単位：人）

	知的障害		身体障害	精神障害	合計
	Ａ判定	Ｂ判定	１級	１級	
男性	９	１３	１	１	２４
女性	６	１２	０	０	１８
小計	１５	２５	１	１	４２

（３）年齢別利用者状況　（単位：人）

	～１９歳	２０～２９歳	３０～３９歳	４０～４９歳	５０～５９歳	６０歳～	計	平均年齢
利用者数	１	11	１５	７	６	２	４２	３７．１歳

（４）出身市町村別利用者状況　（単位：人）

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
利用者数	２６	１２	３	１	０	４２

5　施設利用状況

月別／区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数（日）	22	21	21	23	20	21	22	21	21	20	20	22	254
延利用者数（人）	793	782	782	855	738	783	811	752	780	752	757	815	9,400
1日平均利用者数(人)	36.0	37.2	37.2	37.2	36.9	37.3	36.9	35.8	37.1	37.6	37.9	37.0	37.0
利用率（%）	83.8	88.7	88.7	88.5	87.9	88.8	87.8	85.3	88.4	89.5	90.1	88.2	88.0

6　就労支援事業の状況

（１）年間事業収入

作業科		収　入（円）	前年度対比（%）
食品製造科		４，７９３，８２８	９８．５３
	菓子製造	4,541,238	98.2
	出店販売	252,590	102.3
受託事業科		３，６２５，５５６	１２０．６７
	松柏園給食業務	3,619,656	120.4
	その他（消費税申告に係る戻入れ）	5,900	―
リサイクル科		２，０６８，２０７	９９．０７
園内	ウエス	514,057	92.5
園内	古着販売	596,980	97.9
園内	自主製品	156,020	328.1
園内	クリーニング取次等	31,050	102.7
園内	味噌	62,500	90.1
園外	缶等リサイクル	273,850	62.4
園外	農園作業（委託料含む）	111,750	103.0
園外	その他（施設外就労、他受託料等）	322,000	140.9
製粉事業		１，７１０，４７２	９０．２６
	製粉加工	878,184	84.1
	商品販売	683,217	95.7
	のだ塩	145,371	105.4
	その他（消費税申告に係る戻入れ）	3,700	―
合　計		１２，１９８，０６３	１０２．９１

（２）工賃支給状況

	令和元年度目標	令和元年度実績	備考（前年度実績）
平均工賃月額	６，１００円	５，６９９円	５，７５７円

（３）各科の状況

①食品製造科　[菓子製造]

地域の産直施設を中心に通年販売を継続し、顧客への商品ＰＲや認知度の向上を図り、イベントへの出張販売も含めて季節の変動に合わせた売上を確保し、月々の売上げ向上に反映させることが出来た。ギフト販売では一般企業・団体を中心とした営業活動を継続し、夏季・冬季共に売上目標を達成した。また、食品表示法改正に伴い、各商品の栄養成分表示等を含めた新規の表示シールの作成を行った。

②受託事業科　[松柏園給食業務]

給食提供の安定と継続のため職員体制を強化し、作業のマニュアル化を進めている。また、個別の希望に関しては、委託先との情報共有を密にし、提供の可否について検討、対応に努めた。

③リサイクル科	
[ウエス]	昨年に引き続き、市民からの古着の寄付や問屋よりの綿素材の生地の確保が厳しい状況が続いた中、辛うじて問屋より生地の仕入れをしながら良質で安定した商品製造に努め、既存の取引企業の一部には製品内容を交渉しながらのケースもあったが都度注文を受け、何とか納品することが出来た。
[古着・自主製品]	６月に「サマーバザール」を、１１月には「オータムバザール」の企画・開催を継続し、例年並みの売り上げを達成し売上げの柱となった。販売用の古着や日用品等の在庫が減少しているため、新聞折り込みチラシにて、古着等の寄付を募ることを継続した。 個別に手厚い支援が必要な利用者の増加や高齢化により、作業の進め方に工夫が必要な状況であり、昨年から継続して創作活動や軽農園作業も織り交ぜて情緒の安定や楽しみを感じられるよう、研究しながら日中活動を進めた。
[缶等リサイクル]	昨年の大口企業からの直接回収が困難となった状況を改善するため、新規提供先の開拓に努めた結果、７件の新規回収先を確保した。従来の企業・団体への定期的な自主回収の継続と、利用者家族へもチラシにて持ち込みを定期的に呼びかけ、作業材料の安定確保に努めた。 年間を通して気候の変化による体調不良を回避するために夏場は遮光ネットを張り、秋以降は室内において作業を継続し、利用者の体調管理や作業意欲の維持向上に努めた。
[農園作業]	久慈市社会福祉協議会「ふれあい農園」の委託契約により春季にはジャガイモを栽培しながら生育管理・環境整備に努め、例年並みの量を収穫し納品した。 また、作業材料となる空き缶等が不足していることから、日中活動の作業メニューの拡大と工賃原資の獲得のために他の作業開拓に努め、今年度は農事組合法人宇部川ファームとの契約の締結が実現し、職員間の調整を図りながら現地の作業場においてミニトマトの検品と計量パック詰め作業を職員１名と利用者２名により８月から１１月までの週３日程度の日程で行った。年度末には他の農福連携作業として、菌床しいたけハウス内の廃菌床搬出作業と、ほうれん草ハウス内の収穫後の除草作業の受託契約を行った。
④製粉事業	
[製粉加工]	既存取引企業の桑葉製粉加工を主に、継続した受注を受けた。また、利益の確保のために加工料金値上げの大幅な改定を実施したが、昨年と同様の受注を受けた。 設備面では製粉機のメンテナンスが必要となり、修繕費が高額となったことから単年度収支がマイナスとなった。
[商品販売]	オリジナル商品を市内、近隣町村の産直や土産店で販売を継続した。特に「桑の葉パウダー」は八戸方面の顧客が定着し、種市産直より安定した受注を得た。そのため、洋野町内の農家より定期的な桑生葉の仕入れを継続し、在庫の確保に努めた。

７　主要行事

月	日	行　事　等	場　所	参　加　者　等
4	２ １９ ２１ ２４ ２５ ３０	利用者入所式 年間皆勤賞表彰式 第１回家族会役員会 自主避難訓練 教養講座「お茶会」 みずき通信「春号」発行	食堂 園内 食堂 園敷地内 松柏園ホール	入所者１名、家族、利用者、職員 対象利用者７名、利用者、職員 家族会役員６名、職員３名 利用者、職員 利用者、職員
5	１８ ２６	春のはつらつ行事 家族会総会	八戸市マリエント水族館 食堂	利用者、職員 家族会会員、職員４名
6	8 10～21 ２２	サマーバザール 久慈拓陽支援学校前期実習受け入れ 法人交流会	園内 園庭、園内	全職員 実習生２名 利用者、職員
7	２６ ３１	夏のリフレッシュデー みずき通信「夏号」発行	葛巻町グリーンテージ	利用者、職員
8	14～15 ３０	夏季休暇 夏期特別工賃支給	 園内	利用者、職員 利用者
9	8 26～27	第２回家族会役員会 ふれあい旅行	食堂 弘前市	家族会役員５名、職員３名 利用者、職員
10	9～11 １７ ２４ ３１	久慈拓陽支援学校後期実習受け入れ 総合防災訓練 ふれあい交流スポーツフェスタ みずき通信「秋号」発行	 園敷地内、松柏園園庭 市民体育館	実習生１名 利用者、職員 利用者 25 名、職員５名
11	２ １０ １４ 18～19	オータムバザール 第３回家族会役員会 リフレッシュ教室 （ふれあいランド岩手・支援事業活用） インフルエンザ予防接種	園内 食堂 市民体育館 関上こどもクリニック	職員 家族会役員７名、職員３名 利用者 38 名、職員７名 希望者２０名
12	１４ ２５ ２０ ２７ 30～1/3	家族合同大忘年会 クリスマス会 冬期特別工賃支給 年末大掃除・仕事納め式 年末年始休暇	ロイヤルパークカワサキ 食堂 園内 園内	利用者、家族、職員 利用者、職員 利用者 利用者、職員 利用者、職員
1	6 １７ ３１	仕事始め式 ミズキまつり・成人を祝う会 みずき通信「冬号」発行	作業室 作業室	利用者、職員 利用者、職員、法人役員等
2	5 ２１	利用者健康診断 冬のお楽しみ行事	園内（岩手県予防医学協会検診車） 園内	利用者 利用者、職員
3	1 ２７	第４回家族会役員会 慰労食事会	食堂 食堂	家族会役員８名、職員３名 利用者、職員

※毎月２０日は工賃支給日、体重測定、ごちそう給食の日

8　定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月１回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定、授産業務全般について
毎月１回	工賃支給会議	全職員	利用者の工賃支給額の決定について
年２回	支援検討会	園長、支援員	利用者の個別支援計画について
毎月１回	グループホーム支援会議	園長、担当支援員、全世話人	４ホームの運営全般について
毎月１回	各グループホーム個別支援会議	担当支援員、世話人	入居利用者の個別支援について
毎月１回	運営会議（４事業所合同）	園長、担当職員	各事業所の経営について
年２回	工賃評価会議	園長、担当職員	利用者の作業能力評価について
年４回	給食会議（松柏園、みずき園合同）	園長、担当職員	給食業務全般、栄養指導について

9　職員研修の状況

（１）施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
5/24	食品衛生講習会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	目標工賃達成指導員	１名	食品衛生とHACCPの考え方を取り入れた衛生管理講習（営業許可証更新のため）
11/19	令和元年度サービス管理責任者等更新研修	岩手県社会福祉士会	ふれあいランド岩手	サービス管理責任者	２名	障害者福祉政策の最新の動向とサービス提供の自己検証に関する演習
11/20	人権・倫理委員会・部会合同研修会	岩手県知的障害者福祉協会	イーストピア宮古	目標工賃達成指導員	１名	意思決定支援の在り方等について理解を深める
11/8	令和元年度県北ブロック協議会研修会	岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会	二戸地区合同庁舎	職業指導員 生活支援員	２名	コミュニケーションの基本を学び職員間のチームワークを高める
1/20	障がい者就労施設職員向け農業基礎セミナー	岩手県社会福祉協議会	久慈地区合同庁舎	主任生活支援員	１名	農福連携の事例報告と農業の基礎について学ぶ
1/28	令和元年度工賃引上げセミナー	岩手県	ふれあいランド岩手	主任生活支援員 目標工賃達成指導員 職業指導員 職業指導員 生活支援員	５名	工賃向上計画に基づき、工賃の向上とノウハウの共有を図る
2/5	農福連携実践農家見学会	久慈地方農業農村活性化推進協議会	夏井町内しいたけ圃場	主任職業指導員 主任生活支援員	２名	農福連携を実践している農家の見学と質疑
2/14	久慈地域の園芸労働力確保に向けた農福連携研修会	久慈地方農業農村活性化推進協議会	新岩手農業協同組合久慈営農経済センター	主任生活支援員	１名	農業と福祉の連携について（各地域の取り組み状況、今年度の支援対策事業の報告）

令和元年度　共同生活援助事業報告書

１　総　括

みずき園共同生活援助事業運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性、ニーズに合わせ地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援した。

今年度より支援体制を強化し世話人の増員による休日の確保とＢ型事業所との連携強化に努めた。利用者の疾病、加齢に伴う心身状態の変化に伴い医療機関や複数のサービスを併用する利用者が増加しており関係機関と連携し支援を行った。また、台風１９号の接近に伴い「洪水浸水想定区域」に立地している２ホーム（みずきハウス・なごみハウス）の利用者が水害時の避難計画に沿ってみずき園へ避難し１泊した。

２　共同生活住居の所在地及び利用定員

名　称	所　　在　　地	利用定員	総定員	事業所名
みずきハウス	久慈市長内町第２０地割６１番地４	共同生活援助５人	２２人	みずき園
なごみハウス	久慈市栄町第３７地割７８番地１６	共同生活援助５人		
のどかハウス	久慈市川貫第５地割２０番地６７	共同生活援助６人		
きららハウス	久慈市川貫第９地割２４番地１	共同生活援助６人		

３　従業員の職種・人員及び職務内容（令和２年３月３１日現在）　（単位：人）

職員の職種	員数	専従	兼務	職　務　内　容
管　理　者	1		1	従業者及び業務の管理を一元的に行うとともに、従業者に法令等を厳守させるため必要な指揮命令を行なう
サービス管理責任者	1	1		個別支援計画の作成及びサービス内容の評価・管理等を行う
生活支援員	1	1		個別支援計画に基づきサービス提供や利用者の心身の把握を行う
世　話　人	6	6		日常生活全般に係る相談支援、食事提供等

４　利用者の状況

（１）月別・ホーム別在籍利用者数　（単位：人）

月別／ホーム別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	充足率（%）
みずきハウス（定員５人）	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
なごみハウス（定員５人）	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
のどかハウス（定員６人）	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	100%
きららハウス（定員６人）	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	68	94%
合　計	22	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21	21	260	98%

（２）障害支援区分別利用者状況　　（単位：人）

月別 障害支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区 分 1	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	43
区 分 2	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	134
区 分 3	4	4	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	63
区 分 4	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	8
区 分 5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合　計	22	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21	21	260

（３）出身市町村別利用者状況　　（単位：人）

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	一戸町	田野畑村	計
利用者数	１０	6	2	1	1	1	２１

５　サービス内容

（１）個別支援

利用者の人権を尊重し、一人ひとりのニ―ズを大切にしながら、本人及び家族の合意を得た個別支援計画に基づいて関係機関と連携を取り支援を実施した。又、必要に応じて買い物や行事参加の同行支援や各種手続き支援を行った。

（２）食事の提供

栄養並びに嗜好を考慮し、利用者一人ひとりの心身状態に配慮した食事を適切な時間に提供した（朝食：7:00～ 夕食：18:00～）。また、休日の昼食は各自自由に用意しているが必要な場合は買物等の同行、代行支援を行った。

※一般就労している利用者の勤務時間によって個別対応を行った（朝食、昼食、夜食）。

（３）入　浴

１週間に３回以上の入浴、希望により毎日の入浴を行った。利用者の心身状態に応じ入浴準備、見守り支援を行った。

（４）排　泄

個人のプライバシーを尊重の上、利用者の心身の状況に応じて適切な方法により、必要な援助を行った。

（５）地域生活支援

一人ひとりが地域で暮らし続けられるように家族や関係機関との連携、日常生活自立支援事業との連絡調整を行った。また必要に応じて各種手続きの同行、代行支援を行った。

（６）健康管理

利用者一人ひとりの健康状態を把握し、必要に応じて掛かりつけ医や協力病院での定期通院、不定期通院等の通院同行支援を行った。また、健康診断、食事栄養指導、入院時の各種手続き、面会等を行った。

（７）余暇支援

利用者一人ひとりの希望を尊重しホーム内外での交流や市外への外出等を取入れ余暇の充実に繋げる事が出来た。長期休暇に家族の元に帰宅が難しい入居者においては他ホーム入居者同士の交流やイベントの見学、行事食の提供を行った。＜イベント見学、外食、クリスマス会、等＞

（８）相談支援

利用者の心身の状況や環境等の把握に努め、利用者または家族の相談に応じながら、必要な助言やその他の援助を行った。

また、各市町村、関係機関と連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニ―ズに即した支援を行った。

６　利用料金（事業者が利用者から直接受領する費用及びその額は次のとおり）

	サービス利用料	家　　賃 （個室）	食　　費 （１食あたり）	水道光熱費 （電気、水道、灯油、日用品費等）
みずきハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	２０，０００円	朝食　３００円 夕食　４００円	実費徴収
なごみハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	２５，０００円	朝食　３００円 夕食　４００円	実費徴収
のどかハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	１８，０００円	朝食　３００円 夕食　４００円	実費徴収
きららハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	１８，０００円	朝食　３００円 夕食　４００円	実費徴収

※家賃については、市町村からの家賃補助を受ける場合、月額１０，０００円を控除した額を受領。

７　非常災害対策

災害時を想定した避難、通報、消火訓練を４ホーム合同、各ホーム毎に実施。（１１月）
災害時を想定した避難、支援者不在時の擬似通報体験を各ホーム毎に実施。（３月）
水害時を想定した避難、通報訓練を２ホーム（みずき・なごみ）実施。（７月）
※台風１９号の接近に伴い（みずき・なごみ）入居者７名、職員３名みずき園へ避難。(10/12～13)

８　定例会議の状況

実施日	会　議　名	参加職種	内　　容
毎月１回	グループホーム全体支援会議	園長、サービス管理責任者、生活支援員、世話人等全員	グループホーム全体の利用者支援について
毎月１回	各ホーム支援会議（ホーム毎）	サービス管理責任者、生活支援員、担当世話人等	利用者の個別支援について

９　職員研修の状況

（１）施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
11/16	令和元年度ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ世話人等研修会	岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会 県北ﾌﾞﾛｯｸ協議会	二戸地区合同庁舎１階	世話人	６名	「障がいについての基礎を学ぶ」
2/8	「知的障がい者の理解を深めよりよい生活を図るための県北地域研修・懇談会」	岩手県手をつなぐ育成会	久慈市中央市民センター	サービス管理責任者	１名	「グループホーム」について

令和元年度　松 柏 園 事 業 報 告 書

１　総　括

松柏園運営規程に基づき、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な指定就労継続支援Ｂ型サービスを実施した。

今年度よりサービス提供時間を１時間短縮し日課や送迎時間の調整を行った。各作業科で作業行程の見直しと効率化を進め、作業科間での連携体制を強化し、営業努力や経費削減を継続した結果、平均工賃３０，２１８円となり目標額を上回ることが出来た。

施設の利用状況は、高齢化や疾病の進行等に伴い年間を通して長期欠席者が複数おり、期末には同様の理由で４名の退所者があったことで、契約利用者数及び平均利用者数が減少傾向にあることが課題となった。

２　事業の概要

（１）事業の種類　　就労継続支援Ｂ型
（２）指定年月日　　平成１９年４月１日
（３）定　　員　　４０名
（４）主たる対象者　身体障害者、知的障害者
（５）就労支援種目　クリーニング、縫製、シルクスクリーン印刷
（６）職員の配置状況（令和元年３月３１日現在）　　（単位：人）

職　種	員数	常　勤		非常勤		常勤換算後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
園長（管理者）	1		1			1
副園長兼職業指導員	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
生活支援員	3	3				3
職業指導員	2	2				2
目標工賃達成指導員	1	1				1
指導員補助	2			2		１．２
業務員	1			1		０．７
事務員	1	1				1
合　計	１３	9	1	3		１１．９

３　施設サービスの状況

（１）個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び就労移行に対する考え方を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

（２） 作業支援

利用者個々の障害特性に応じた作業ができるように、可能な限り作業工程の単純化を図り、道具の工夫や手順の標準化に努め、継続的な作業環境の整備に努めた。また、利用者個々のスキルアップや能力を向上するための作業支援に努めた。

一方で、加齢により作業能率の低下が見られる利用者が増えつつある現状を踏まえ、対象となる利用者に対しては健康管理を優先し、無理の無い作業の取り組みとなるよう配慮した。

（３） 実習・就労移行支援

一般就労、就労移行希望者がいなかったが、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

（４） 社会生活支援

地域における催事等に積極的に参加し、利用者の社会参加促進に努めた。

また、利用者の生きがいのある豊かな生活のため、文化活動や季節感の感じられる各種行事を実施した。

・春の野外行事、お茶会、法人施設交流会、親睦旅行（青森・浅虫方面１泊２日）
　忘年会、慰労食事会等

（５）給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、バラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

・給食サービス利用者数　３９名（利用率９５％）
・食事提供に係る実費徴収額　１食当たり３００円
※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の２５８円

（６）健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に血圧・体重測定を行うほか、健康診断を年１回（２月）実施。また、希望者（２１名）には医療機関においてインフルエンザの予防接種を実施した。

（７）送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

・送迎サービス対象者数　３９名（利用率９５％）

（８）安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、松柏園消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年１回１０月）、通報・避難訓練（年１回４月）を実施した。

（９）地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム職員との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。

4　利用者の状況（令和２年３月３１日現在）

（１）月別在籍利用者数　（単位：人）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	29	29	29	29	29	29	29	29	28	27	27	27	３４１	２８．４
女性	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15	15	14	１８７	１５．６
合計	45	45	45	45	45	45	45	45	43	42	42	41	５２８	４４．０

（２）障害別利用者状況　（単位：人）

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
程度	１級	２級	３級	４級	５級	６級	A	B	１級	２級	３級	手帳なし	
利用者数	3	8	1	2	1	1	0	２１	1	1	1	1	４１
	１６						２１		4				

（３）年齢別利用者状況　（単位：人）

	～１９歳	２０～２９歳	３０～３９歳	４０～４９歳	５０～５９歳	６０歳～	計	平均年齢
利用者数	0	8	3	9	１１	１０	４１	４９．９歳

（４）出身市町村別利用者状況　（単位：人）

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
利用者数	２８	6	4	3	0	４１

5　施設利用状況

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数（日）	22	21	21	23	21	21	22	21	21	20	20	22	255
延利用者数（人）	903	842	842	948	848	862	875	815	786	766	764	839	10090
1日平均利用者数(人)	41.0	40.1	40.1	41.2	40.3	41.0	39.8	38.8	37.4	38.3	38.2	38.1	39.6
利用率（%）	91.2	89.1	89.1	91.6	89.7	91.2	88.4	86.2	87.0	91.2	91.0	93.0	89.9

６　就労支援事業の状況

（１）年間就労支援事業収入

作業科	収　入（円）	前年度対比（%）
クリーニング	３１，１１５，３７８	１０７．０%
縫製	２，１４６，７６３	７６．５%
シルクスクリーン印刷	１７，４９８，０６１	１００．２%
合　計	５０，７６０，２０２	１０２．９%

（２）工賃支給状況

	令和元年度目標	令和元年度実績	備考（前年度実績）
平均工賃月額	３０，０００円	３０，２１８円	３０，０６０円

（３）各科の状況

＜クリーニング科＞

年間売上は１０月の消費増税に伴う料金の値上げを行った事で､前年比７%増となり安定したクリーニングの提供が出来た。

主力となる４施設の利用者私物クリーニングは順調に推移し売り上げを確保した。

宿泊施設のリネンリースは、観光客や工事関係者の利用が徐々に減少傾向にあるが、昨年度は大型連休の際に売り上げを伸ばす事が出来た。

一般クリーニングは、今年度から集配を伴うホームクリーニングを中止し、売り上げの減少が見込まれたが、民間事業所のユニホームや白衣等の受託、学校や団体等への継続的な営業活動が、安定した売り上げを確保する事に繋がった。

クリーニング収入内訳（円）		前年比%
施設利用者私物（老健等４施設）	19,435,373	106.7
リネンリース（旅館１か所）	4,736,062	104.7
基準寝具業務（特養１施設）	1,688,897	119.0
一般（団体等）	5,255,046	106.8
計	31,115,378	107.0

設備面では、一昨年度に行った配管の組み換えの効果が出ており、燃料費を前年比約２５%節約する事が出来た。

＜縫製科＞

年間売上は、前年比 23.5%減となった。要因としては、Ｂ社のパジャマ部門が 11 月で終了となり、バック部門へ移行したことが大きく、以降Ｂ社からはバック付属品の手作業を導入し作業の確保に努めた。

またＡ社においては洗い行程作業の入荷量が減少となったが、芯貼り作業の継続的な入荷と、交渉による単価アップを行うことにより、前年比 6.8%増の売上となった。

縫製収入内訳（円）		前年比%
子ども服等受託 縫製事業所Ａ社	1,313,049	106.8
パジャマ等受託 縫製事業所Ｂ社	833,714	52.8
計	2,146,763	76.5

作業面においては、高齢の利用者が多いため、日々の状態の把握を行うと共に、健康面、安全面の確認を行い、無理のない作業への取り組みとなるよう配慮した。

＜シルクスクリーン印刷科＞

年間売上は、前年と比べ横ばいとなったが、価格競争や大手業者の進出により、企業、個人ともに年々受注をいただくことが難しくなっている。例年いただいている学校関係の商品等も、児童数の減少により受注数が数年前と比べ半数以下となっている。

対応として、対面での打ち合わせ、納期や原稿作成時の対応の早さ、仕上がりや品質といったメリットをアピールしながら営業を行い、受注数の増加と売り上げ向上に繋げている。

作業面では刷り作業の指導を行い、対応人員を増やし生産能力の向上に向け取り組んだ。

また、仕入面では経費削減の為、タオル等材料の仕入先を増やす事により仕入れ価格の交渉等、利益確保に努めた。

シルクスクリーン印刷 収入内訳（円）		前年比％
タオル類	5,787,503	107.8
Ｔシャツ類	7.383,550	104.5
のぼり旗類	2,336,950	82.9
その他のアイテム	2,004,058	90.5
計	17,498,061	100.2

7　主要行事

月	日	行　事　等	場　所	参　加　者　等
4	1 4 9 １２ ２５	「松柏園だより」発行 避難訓練 親睦会役員会 親睦会総会 教養講座「お茶会」	 園敷地内 会議室 食堂 ホール	 利用者、職員 利用者、職員２名 利用者、職員６名 利用者 43 名、職員 13 名
5	１０	春の行事	久慈市内（平庭高原）	利用者 40 名、職員 13 名
6	3 １３ ２２	「松柏園だより」発行 親睦会役員会 法人施設交流会	 会議室 みずき園園庭	 利用者、職員２名 利用者 34 名、職員 12 名
7				
8	1 １３ 14～15 30～31	「松柏園だより」発行 特別工賃支給 お盆休み 親睦旅行	 青森・浅虫	 利用者 33 名、職員 14 名
9				
10	1 １０ １７	「松柏園だより」発行 親睦会役員会 防災総合訓練	 会議室 園敷地内	 利用者、職員２名 利用者、職員
11				

12	２ １２ １３ ２１ ２５ ２７ 28～1/5	「松柏園だより」発行 親睦会役員会 特別工賃支給 忘年会 クリスマス会 大掃除 年末年始休み	会議室 久慈グランドホテル食堂	利用者、職員２名 利用者 34 名、職員 12 名、他２名 利用者、職員
1				
2	３ ５	「松柏園だより」発行 利用者健康診断	みずき園	利用者
3	５ ２６	親睦会役員会 慰労食事会	会議室 山海里	利用者、職員１名 利用者 38 名、職員 11 名

＊毎月１５日は工賃支給日、体重・血圧測定、ごちそうの日

８　会議の状況

実施日	会　議　名	参加職種	内　　容
毎月１回 毎月１回 毎月１回 毎月１回 年　４　回	職員会議 授産会議 支援会議 運営会議（４事業所合同） 給食会議（松柏園・みずき園合同）	全職員 全職員 全職員 園長、副園長、主任担当支援員	施設業務、行事予定について 授産業務全般、工賃等について 利用者の個別支援について 法人内全事業所の経営について 給食業務全般、栄養指導について

９　職員研修の状況

（１）施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
8／1～2	防火管理者講習	岩手県防災保安協会	久慈市防災センター	生活支援員	１名	資格取得のための講習
8／21～22	令和元年度役職員研修会	岩手県社会福祉協議会	ホテルメトロポリタン	副園長	１名	講演「社会福祉法人の働き方改革」 講演「福祉業界における人材確保」
9／20	令和元年度 支援力を高めるコミュニケーションスキル研修	社会福祉法人岩手県社会福祉事業団	いわて県民情報交流センターアイーナ	職業指導員	１名	講義　福祉サービスの現場におけるコミュニケーションの基本 演習　支援に役立つ具体的なコミュニケーションの取り方

11／9	令和元年度岩手県障がい者協働生産施設協議会職員研修会	岩手県障がい者協働生産施設協議会	大船渡プラザホテル	副園長 指導員 生活支援員 職業指導員	４名	講演「チーム力を高める職場のコミュニケーション」 意見交換会「就労支援のあり方を共に考え未来に活かすために」
2／5	令和元年度高次脳機能障害研修会	久慈地域障害者自立支援協議会	久慈市役所	生活支援員	１名	高次脳機能障害について

令和元年度　あすリード本舗事業報告書

１　総　　括

あすリード本舗運営規程に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な就労継続支援Ｂ型サービスを提供した。

施設の利用状況は、利用者数は年間を通じて 19 名と変わらず、利用率は 94.6％と安定した利用となった。また、昨年度に引き続き失業保険受給における失業認定日の支援を行うとともに、一般就労希望者３名に対し企業実習の支援を行った。

就労支援事業においては、売り上げが減少する中、経費削減を継続し、利益確保に努め、平均工賃月額が３０，０８０円となった。

２　事業の概要

（１）事業の種類　　就労継続支援Ｂ型
（２）指定年月日　　平成３０年１０月１日
（３）定　　員　　２０名
（４）主たる対象者　知的障害者
（５）就労支援種目
　　麺製造作業、菓子製造作業、販売事業、受託作業（のだ塩、炭袋詰め等）
（６）職員の配置状況（令和２年３月３１日現在）

（単位：人）

職　　種	員数	常勤		非常勤		常勤換算後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長（管理者）	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
事務員	1	1				1
生活支援員	1	1				1
職業指導員	3	2		1		3
目標工賃達成指導員	1	1				1
合　計	8	7		1		8

３　施設サービスの状況

（１）個別支援

利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、利用者本人及び家族等の同意を得た個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービスの提供に努めた。

（２）作業支援

利用者個々の実情に応じた作業ができるように環境を整え、就労への作業意欲、能力の向上に向けた継続的な就労の場を提供するとともに、個々の勤労意欲が高まるよう支援した。

（３）実習・就労移行支援

一般就労希望者に対し、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努め、実習先を確保し実習を実施した。

（４）社会生活支援

文化活動、余暇活動を実施することにより、利用者の生活を豊かにするとともに社会参加や生きがいづくり等の支援を行うため、利用者自治会への支援を実施した。

（５）健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に体重及び血圧測定を行うほか、健康診断を２月に実施した。

（６）送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所ができない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

・送迎サービス対象者数　１６名

（７）安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、あすリード本舗消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年１回１０月）、通報・避難訓練（年１回５月）を実施した。

（８）地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム従業者との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。

４　利用者の状況（令和２年３月３１日現在）

（１）月別在籍利用者数　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
男性	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	12.0
女性	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84	7.0
計	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228	19.0

（２）障害別利用者状況　（単位：人）

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
程度	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし	
利用者数	1	2	0	0	0	0	0	15	1	0	0	0	１９
	３						１５		１				

（３）年齢別利用者状況　（単位：人）

	～１９歳	２０～２９歳	３０～３９歳	４０～４９歳	５０～５９歳	６０歳～	計	平均年齢
利用者数	0	4	4	１０	0	1	１９	３９．８歳

（４）出身市町村別利用者状況　（単位：人）

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	計
利用者数	１２	4	3	0	１９

５　施設利用状況

月／区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数（日）	22	21	21	23	21	21	22	22	22	21	20	22	258
延利用者数（人）	395	377	382	419	386	391	397	383	393	355	365	396	4639
1日平均利用者数（人）	18.0	18.0	18.2	18.2	18.4	18.6	18.0	17.4	17.9	16.9	18.3	18.0	18.0
利用率（%）	94.5	94.5	95.7	95.9	96.7	98.0	95.0	91.6	94.0	89.0	96.1	94.7	94.6

６　就労支援事業の状況

本年度の就労支援事業収入は 39,812 千円と前年対比 92.1％と前年を下回る実績となり、受託事業を除いたすべての事業が前年を下回る実績となった。

就労支援事業収支差額は 3,362 千円となった。

（１）年間事業収入

項　　目	収　　入（円）	前年度対比（％）
食品製造事業	２，７２５，０２８	７７．８
製麺事業	２９，９５４，０８９	９７．７
販売事業	１，３４５，９００	４９．８
受託事業	５，７８７，０４３	１１１．６
合　　計	３９，８１２，０６０	９２．１

（２）工賃支給状況

	令和元年度目標	令和元年度実績	備考（前年度実績）
平均工賃月額	２５，５００円	３０，０８０円	３０，２０８円

（３）各事業の状況

＜食品製造事業＞

年間売上は 2,725 千円となり前年対比 77.8％と減少した。全ての商品が前年より売り上げが落ち込み、収支差額はすべての商品が手作りで労務費が過大であり、－2,425 千円と前年対比 52.4％となったが依然として収支の均衡がとれない状況となっている。

三陸鉄道が台風の影響により運航ができないことにより、三鉄向けのかりんとうが大幅な落ち込みとなった。

収　支　状　況　（円）		
収入	かりんとう	2,002,450
	その他菓子類	722,578
	計	2,725,028
支出	製　造　原　価	5,145,668
	販 売 管 理 費	4,807
	計	5,150,475
部門収支		▲2,425,447

＜製麺事業＞

年間売上は 29,954 千円となり、前年度対比 97.7％となった。売上については、袋・パック・箱物が減少しているなかで、麺類、スープ類の売り上げが多少ではあるが伸びている。しかし、ゆうパックの売り上げが前年対比 30.6％、金額で 160 万円減少した。

収　支　状　況　（円）		
収入	袋・パック・箱	12,281,215
	麺　　類	14,550,255
	ス　ー　プ　類	3,122,619
	計	29,954,089
支出	製　造　原　価	20,991,691
	販 売 管 理 費	3,229,842
	計	24,221,533
部門収支		5,732,556

＜販売事業＞

年間売上は、1,345 千円となり、前年度対比49.8％となった。減少した要因としては、パンの仕入れを中止したこと。また、ギフト商品として仕入れて販売した商品の落ち込みが大きかった。

また、法人内部の連携も行い、クッキー、サブレ等の販売も行った。

収　支　状　況　（円）		
収入	ギフト商品	1,015,780
	その他	330,120
	計	1,345,900
支出	製造原価	1,271,967
	販売管理費	45,125
	計	1,317,092
部門収支		28,808

＜受託事業＞

年間売上は、5,787 千円となり、前年度対比111.6％と増加した。

木炭の袋詰め作業の受託については、注文が集中する時期もあったが注文に間に合わせた生産が行われ、前年対比 93.3％となった。

のだ塩作業受託については、のだ塩製造量の増加に伴い作業量が増え、前年対比 133.4％となった。

収　支　状　況　（円）		
収入	のだ塩作業受託	2,806,366
	炭作業受託	2,681,083
	その他作業受託	299,594
	計	5,787,043
支出	製造原価	5,760,552
	計	5,760,552
部門収支		26,491

農福連携事業として、10 月にワイン向け山ぶどうの調整作業を受託し、9 日間現地に出向き作業を行った。

ただ、台風 19 号の影響によりイベント等が中止となり、久慈地方産業まつりの開催準備の作業を受託できなかった。

7　主要行事

月	日	行事等	場所	参加者等
5	16	自衛消防訓練	事業所	利用者、職員
9	7	日帰り親睦旅行	釜石市、宮古市	利用者、職員
10	17	自衛防災訓練	事業所	利用者、職員
11	11～21	久慈市キャリア教育職場体験実習受け入れ 久慈中　11 日～14 日 長内中　19 日～21 日	事業所	各中学校　1 名
11	13	障害者福祉施設見学受入（農福連携）	事業所	農業者　5 名 県職員 11 名 久慈市　1 名 ＪＡ　1 名
12	7	忘年会	ｸﾞﾘｰﾋﾙおおの	利用者、職員
12	25	クリスマス会	事業所	利用者、職員

2	5	利用者健康診断	みずき園	利用者
3	25	慰労食事会	とんかつ小龍	利用者、職員

※　毎月２０日、工賃支給日及び体重・血圧測定

８　会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内　　容
毎月１回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月１回	授産会議	全職員	授産業務全般について
毎月１回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月１回	手話講習会	利用者	手話講習
毎月１回	運営会議	施設長、担当職員	法人内全事業所の経営について

９　職員研修の状況

（１）施設外研修

実施日	研修名	開催者	場　所	参加職種	参加人数	研修内容
11/30	感染症予防講習会	久慈保健所	久慈地区合同庁舎	生活支援員	１名	・感染症集団発生事例に学ぶ施設内感染症対策について ・個人防護着の着脱及び手洗いの実技
1/20	農業基礎セミナー	岩手県	久慈地区合同庁舎	施設長	１名	・農業の基礎知識 ・農福連携について ・農福連携の取り組み

令和元年度　チャレンジドセンター久慈事業報告

１．障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）実施結果

区分	計画内容	具体的実施状況
１　人件費	主任就業支援担当者１名、就業支援担当者２名を配置し、以下の業務を行う。	主任就業支援担当者１名、就業支援担当者２名を配置し、以下の業務を行った。
２　事業費	○障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行う。 ○事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。 ○障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする。 ○在職中の対象障害者を対象に、グループワーク等で職場での悩み等を話し合う交流の場を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善を図り職場定着の促進を図る。（年５回）	○障害者からの相談・支援 ・支援対象障害者数　１３３名 ・相談支援件数　２，４４１件 ・就職件数　２５件 ○事業主に対する助言 ・支援対象事業所数　６２社 ・相談支援件数　２０１件 ○職場実習等のあっせん ・あっせん件数　２９件 ○主な相談支援内容 ・協力企業を中心に支援への協力を働きかけ、職場実習を行った。 ・再就職に向けた取り組みや職場説明会・事業所対象研修会を開催し就職への支援を行った。 ○在職中の支援対象者を対象として、年４回以下の事業内容で開催した。 第１回 令和元年５月 23 日（木） 「長く働き続けるためには～聞いてみよう！先輩や仲間の思い～」 在職者…４名参加 第２回 令和元年８月 29 日（木） 「仕事のやる気スイッチ探し～仕事のモチベーションを上げるには～」 在職者…３名参加

		第３回 令和元年 10 月 18 日（金） 「メモの取り方～指示を聞き逃さないために～」 在職者…５名参加 第４回 令和元年 12 月 13 日（金） 「怒りとうまく付き合うためには」 在職者…５名参加 第５回 新型コロナウィルス感染防止のため中止
	○障害者就業・生活支援センターにおける就業支援担当者経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行う。（就業支援担当者１名）	令和元年１１月２７日～２８日まで主任就業支援担当者１名が参加し、精神障がい者の就労支援のあり方などについて学んだ。
	○その他、岩手県並びに関係機関及び団体が主催する会議・研修に参加し資質の向上に努める。 （主任就業担当者１名、就業支援担当者２名）	岩手県障害者就業・生活支援センター連絡協議会主催の定期研修会に参加し、資質の向上に努めた。
	○業務の円滑かつ有効な実施に資するため、岩手労働局、ハローワーク、岩手障害者職業センター、県北広域振興局、久慈市、洋野町、野田村、普代村、等の関係機関との連携を図る。 ○久慈地域障害者自立支援協議会就労分科会と連動しての連絡会議を開催し、関係機関との連携を図る。 （年５回）	就労支援ネットワーク会議を以下のとおり開催し、関係機関との情報交換を行った。 第１回　令和元年５月 16 日（木） 議　題 ・平成３０年度事業報告について ・第１回在職者交流会について ・第１回事業所対象研修会について ・第１回職場説明会について ・第２回職場説明会について 第２回　令和元年７月４日（木） 議　題

	○久慈地域障害者自立支援協議会の各分科会と連携を図る	・会員企業について ・リーフレットについて ・第２回在職者交流会について ・第１回職場説明会について ・第２回職場説明会について 第３回　令和元年９月 24 日（木） 議　題 ・リーフレットについて ・第３回在職者交流会について ・第２回職場説明会について ・第２回事業所対象研修会について 第４回　令和元年 11 月 21 日（木） 議　題 ・第２回職場説明会について ・第４回在職者交流会について ・第２回事業所対象研修会について 第５回　令和２年２月６日（木） 議　題 ・第５回在職者交流会について ・第２回事業所対象研修会について ・リーフレットについて ・令和２年度久慈地区障がい者就労支援ネットワーク事業計画(案)について 第６回目は、新型コロナウィルス感染防止のため中止

２．障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）実施結果

<table>
<tr><td>支援対象者数</td><td>１３３名
（登録解除者 28 名）</td><td>障がい種別ごとの対象者数</td><td colspan="3">身体２０名　知的６０名　精神３９名　その他１４名</td></tr>
<tr><td>新規支援者数</td><td>２８名</td><td>障がい種別ごとの対象者数</td><td colspan="3">身体　７名　知的　６名　精神１３名　その他　２名</td></tr>
<tr><td>継続支援者数</td><td>１３３名</td><td>障がい種別ごとの対象者数</td><td colspan="3">身体１８名　知的６４名　精神３３名　その他１８名</td></tr>
<tr><td>相談件数</td><td>２，４４０件</td><td colspan="4">（内訳　家庭訪問　４３件　職場訪問　２８１件　その他　２，１１６件）</td></tr>
<tr><td>相談内容</td><td colspan="5">（１）主に就労面を中心とする相談　２，３３３　件
・離職者や求職者への就労に向けた生活状況の確認や助言等
・在職者への通勤方法や職場の人間関係への相談支援や助言等
（２）生活面を中心とする相談　１０７　件
・休日の生活の相談支援や助言等
・通院に関する相談支援や助言等</td></tr>
<tr><td rowspan="3">基礎訓練実施者数及び実施施設</td><td>実施施設</td><td>就労継続支援事業Ｂ型事業所　みずき園</td><td>実施者数</td><td colspan="2">０　名</td></tr>
<tr><td>実施施設</td><td>就労継続支援事業Ｂ型事業所　松柏園</td><td>実施者数</td><td colspan="2">０　名</td></tr>
<tr><td>実施施設</td><td>就労継続支援事業Ｂ型事業所　あすリード本舗</td><td>実施者数</td><td colspan="2">０　名</td></tr>
<tr><td>関係機関との連携状況
（主な事例及び連携の内容について記載）</td><td colspan="5">支援対象に合わせ、県内の就業・生活支援センターや久慈地域障害者自立支援協議会就労支援分科会、各相談支援専門員と連携し支援を行っている。
（１）資格取得や通勤等に係る支援。
（２）一人暮らしや結婚・出産等、生活技術に関する支援。
（３）年金申請等の権利擁護に関する支援を相談支援専門員など関係機関と連携して行った。
（４）休職から復職へ向けた生活支援。</td></tr>
</table>

３．相談支援事業実施報告

（登録者数）

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	140	28	0	99	9	4	0	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	140	28	0	99	9	4	0	0

（支援方法）

支援方法	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	304	55	37	177	6	187	340	25	1131

（支援内容）

支援内容	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	978	13	48	18	0	10	18	32	29

支援内容	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	0	31	0	1177

（その他）

	巡回相談出席	関係機関会議出席	研修会等出席	ケア会議（Ⅰ）	ケア会議（Ⅱ）	専門機関への紹介	計
件数	0	21	10	5	182	0	218

４.職員研修の状況

（1）施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
４月１日	職員研修会	ＭＳ北東北株式会社 久慈支店長 野場貴行　氏	全職員	６名	・企業実習に係る保険について
５月 23 日	職員研修会	稲村　布美子	全職員	６名	・会計について学ぶ ～資金収支計算書と事業活動収支計算書（1）～
７月 22 日	職員研修会	稲村　布美子	全職員	６名	・会計について学ぶ ～資金収支計算書と事業活動収支計算書（2）～
８月 19 日	職員研修会 （復命研修）	稲村　布美子	全職員	６名	働く人のこころの健康づくりについて学ぼう
11 月 21 日	職員研修会 （復命研修）	稲村　布美子 澤山　あかね	全職員	６名	アルコール依存症について

（2）施設外研修

実施日	研修名	主催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
４月 26 日	２０１９年度第１回岩手県障害者･生活支援センター連絡協議会総会及び合同研修会	岩手県障害者･生活支援センター連絡協議会	盛岡市ふれあいランド岩手	所長 主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	４名	講演 『対象者理解と反社会行動を有する人のアセスメント』
５月９日	平成３１年度第１回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	生活支援ワーカー 相談支援専門員	２名	講話 『久慈地域の自殺対策』

6月18日	令和元年度 岩手県障害者地域生活支援事業連絡協議会定期総会・第1回研修会	岩手県障害者地域生活支援事業連絡協議会	盛岡市 ふれあいランド岩手	相談支援専門員	1名	研修 『地域の相談支援体制と地域生活拠点の整備について！！』
6月20日	平成３１年度 第２回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	生活支援ワーカー 相談支援専門員	2名	講話 『発達障害について』 等
6月27日	平成３１年度障がい者相談支援従事者初任研修	岩手県	盛岡市 岩手県医師会館	主任就業支援ワーカー	1名	講義 『障害者総合支援法等の概要』 『相談支援の基本姿勢』 等
7月9日	令和元年度障がい者相談支援従事者初任研修	岩手県	盛岡市 ふれあいランド岩手	主任就業支援ワーカー	1名	研修 サービス等利用計画作成 等
7月18日	平成３１年度 第３回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	生活支援ワーカー	1名	講演 『働く人のこころの健康づくりについて』
7月25日	令和元年度障がい者相談支援従事者初任研修	岩手県	盛岡市 ふれあいランド岩手	主任就業支援ワーカー	1名	演習 モデルケア会議 等
8月22日	令和元年度 第４回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	生活支援ワーカー 相談支援専門員	2名	講演 『被災地のこころのケアと支援者のこころの健康』
9月19日	令和元年度 第５回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	生活支援ワーカー	1名	講話 『困りごとを抱える方への支援について』

9月26日	令和元年度岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会第２回研修会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	盛岡市ふれあいランド岩手	所長 主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	４名	講演 『企業側からみた障がい者の就業について』 講演 『障がいが窺われる高校生の就業支援』
10月17日	令和元年度 第６回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	生活支援ワーカー 相談支援専門員	２名	講義 『インテークと対応法』 等
11月5日	２０１９年度 障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	千葉県 障害者職業総合センター	就業支援ワーカー	１名	講義 『職場における雇用管理の実際』 『労働関係法規の基礎知識』 等
11月21日	令和元年度 第７回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	生活支援ワーカー 相談支援専門員	２名	講話 『自殺のリスクアセスメントと支援のポイント』 等
11月27日	令和元年度 障害者就業・生活支援センター北海道・東北ブロック経験交流会議	岩手労働局	盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡	主任就業支援ワーカー	１名	講義 『精神障害者の就労支援について』 等
11月28日	第１７回東北・北海道ブロック障害者就業・生活支援センター連絡会　北海道大会	第１７回東北・北海道ブロック障害者就業・生活支援センター連絡会青森大会実行委員会	青森県観光物産館アスパム	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	３名	基調講演 シンポジウム 『障がい者の就労支援を支えるために』

1月16日	令和元年度 第９回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	生活支援ワーカー	１名	講話 『自殺対策のさらなる推進に向けて』
２月５日	令和元年度 高次脳機能障害研修会	久慈地域伊率支援協議会　生活支援分科会	久慈市役所	相談支援専門員	１名	講演 『高次脳機能障害について』
２月７日	令和元年度 第２回岩手県障害者就業・生活支援センター連絡協議会及び岩手県就労移行支援事業所連絡会との合同研修会	岩手県障害者就業･生活支援センター連絡協議会	二戸市シビックセンター	所長 主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	３名	講演 『“くらし” の中を覗き込む - 職員の役割と権利擁護を考える機会に - 』
２月13日	令和元年度 いきる支援セミナー	岩手県久慈保健所	アンバーホール	生活支援ワーカー 相談支援専門員	２名	基調講演 『久慈市災害ボランティアセンターの取り組み』 特別講演 『今後の自殺対策に向けて』